

2023

6

東京フィルの

休日の
午後の
コンサート。



第97回 休日の午後のコンサート

2023年6月11日(日) 14:00開演
東京オペラシティ コンサートホール
〈よくばりヴァイオリン〉

chie /d/



©上野隆文

本日はご来場いただき、まことにありがとうございます
歴史を紡ぎ未来へと奏でるオーケストラの調べを
心ゆくまでお楽しみください

東京フィルハーモニー交響楽団

オフィシャル・サプライヤー

SONY

Rakuten

マルハニ

LOTTE

ゆうちょ銀行

公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団は上記の企業から特別なご支援をいただいております。



休日の午後のコンサート。

2023.6.11 (日) 14:00開演 東京オペラシティ コンサートホール

Sun. June 11, 2023, 14:00 at Tokyo Opera City Concert Hall

〈よくばりヴァイオリン〉 〈Voracious Violin〉

指揮とお話 出口大地 Daichi Deguchi, conductor & speaker

ヴァイオリン 松田理奈* Lina Matsuda, violin

コンサートマスター 三浦章宏 Akihiro Miura, concertmaster

ハチャトゥリアン：バレエ音楽『ガイヌ』より「剣の舞」(約3分)

Khachaturian: Sabre Dance from ballet "Gayaneh" (ca. 3 min)

ヴィヴァルディ：『四季』より「春」* (約10分)

Vivaldi: Spring from The Four Seasons (ca. 10 min)

チャイコフスキー：ヴァイオリン協奏曲より第1楽章* (約19分)

Tchaikovsky: 1st movement from Violin Concerto (ca. 19 min)

メンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲より第3楽章* (約7分)

Mendelssohn: 3rd movement from Violin Concerto (ca. 7 min)

— 休憩 intermission —

ベートーヴェン：交響曲第5番『運命』(約35分)

Beethoven: Symphony No. 5 (ca. 35 min)

主催：公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団 / Presented by Tokyo Philharmonic Orchestra

◎すべてのお客様に、快適にお楽しみいただくために / Dear audience

♪本公演は全席指定です。指定のお席にご着席ください。演奏開始間際の入場の際にはスタッフの案内で入場券記載とは異なる席への着席をお願いすることがございます。♪演奏中のご入場は、固くお断りいたします。楽章間のご入場は楽曲の進行によりスタッフがご案内いたします。入場いただけない場合もございますのでご了承ください。♪曲間・楽章間での退場につきましては、体調に不安がある場合など、無理せずご判断ください。その際、周りのお客様の鑑賞の妨げとならぬよう、ご配慮いただければ幸いです。♪演奏中に、時計やスマートフォンのアラーム音等が鳴らないよう、いま一度ご確認ください。♪演奏は最後の余韻まで余さずお楽しみください。早すぎる拍手や声援は他のお客様の鑑賞の妨げとなる場合がございますので、ご配慮くださいますようお願いいたします。

♪ All seats are reserved. Late admittance will be refused during the live performance. If you enter or reenter just before the concert or between movements, we may escort you to a seat different from the one to which you were originally assigned. ♪ Exiting during the performance will be tolerated. If you do not feel well, please exit or enter as you need. However, please mind the other listeners so that they will be minimally disturbed. ♪ Please refrain from using your cellphone or other electronic devices during performance. ♪ Hold applause please. Please cherish the "afterglow" at the end of each piece for a moment before your applause.

出演者プロフィール

指揮とお話 出口大地

Daichi Deguchi, conductor & speaker

第17回ハチャトゥリアン国際コンクール指揮部門にて日本人初の優勝。クーセヴィツキー国際指揮者コンクール最高位及びオーケストラ賞受賞。関西学院大学、東京音楽大学指揮科にて学び、2023年ハンスアイスラー音楽大学ベルリン指揮科修士課程修了。ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団、アルメニア国立交響楽団等の指揮を経て、東京フィルハーモニー交響楽団定期演奏会で日本デビュー。広上淳一、クリスティアン・エーヴァルト、パーヴォ・ヤルヴィ、ドナルド・ラニクルズ、井上道義、沼尻竜典、下野竜也各氏らの薫陶を受け、ベルリン放送交響楽団ではグラディーミル・ユロフスキ氏のアシスタントを務めた。

公式ホームページ <https://daichideguchi.wixsite.com/daichideguchi>



©hiro.pberg_berlin

ヴァイオリン 松田理奈

Lina Matsuda, violin

桐朋学園大学ソリスト・ディプロマコースにて研鑽を積み、2006年ドイツ・ニュルンベルク音楽大学に編入。2007年、同大学を首席にて卒業。2001年、第10回日本モーツァルト音楽コンクールヴァイオリン部門第1位(同コンクール史上最年少優勝)。2002年にはトッパンホールにて「16才のイザイ弾き」というテーマでソロリサイタル開催。2007年、サラサーテ国際コンクールにてディプロマ入賞。これまでに国内の主要オーケストラと多数共演するほか、ハンガリー国立フィル、ヤナーチェク・フィル、スーク室内オーケストラ、ベトナム響など数々の楽団と共演。2010年11月にはイザイの無伴奏ヴァイオリン・ソナタを全曲収録した『YSAÏE』をリリースし「レコード芸術」誌上にて特選盤に選ばれた。2018年5月ブラームスとフランクのソナタをピアニスト清水和音氏と収録した5枚目のアルバムをリリース。

オフィシャルホームページ <https://linamatsuda.com>



©Akira Muto

プログラム・ノート

解説=柴田克彦

人気曲がズラリと揃った超名曲コンサート

〈よくばりヴァイオリン〉と題された今回の「休日の午後のコンサート」は、ヴァイオリン協奏曲の美味しい部分をまとめて味わえる、意外に稀少なプログラム。『四季』『運命』、メンコン、チャイコン、「剣の舞」と、クラシック音楽きっての人気曲がズラリ揃った超名曲コンサートでもあります。

ヴァイオリン独奏は、確かな技巧で表情豊かな演奏を聴かせる松田理奈。彼女は今回の3つの協奏曲(実はどれも高い技術とタフさが必要な難曲です)の全曲を1公演で弾いているほどの実力者ですから、その鮮やかで艶やかな調べに大きな期待が集まります。指揮は、2022年7月の東京フィル定期演奏会で快演を展開した出口大地。ハチャトゥリアン国際コンクールで優勝した彼の「剣の舞」や、劇的な『運命』交響曲の表現も聴きものとなります。

ヴァイオリンの妙技にダイナミックなオーケストラ・サウンド……ここは、おなじみのメロディを存分に満喫しましょう。



昨年東京フィルでデビューを果たしたマエストロ出口による、ダイナミックな指揮ととっておきのお話をお楽しみください

©K.Miura

木琴と管楽器が駆け抜ける激しいリズムでおなじみの人気曲

幕開けは、旧ソヴィエト連邦の民族主義音楽をリードした
アラム・ハチャトゥリアン (1903-1978) の**バレエ音楽『ガイーヌ』**より**「剣の舞」**。トルコ近くに位置するアルメニア人だったハチャトゥリアンは、その民族音楽にもとづく、リズムカルで生命力溢れる作品を残しました。1942年に作曲された『ガイーヌ』は、彼の代表作のひとつ。アルメニアの山あいのコルホーズ（ソ連時代の集団農場）で働く若い女性ガイーヌを主人公にしたバレエです。その中でも有名な「剣の舞」は、勇ましいクルド族が戦いに向かう前に踊る音楽。激しいリズムが刻まれる中、木琴のソロに管楽器がこたえ、東洋風のメロディが現れた後、熱く盛り上がっていきます。



春の喜びを描いたバロック音楽の代名詞的作品

ここからは古今のヴァイオリン協奏曲を代表する作品が3つ続きます。

まずは、イタリア・バロック音楽の大家**アントニオ・ヴィヴァルディ** (1678-1741) の**『四季』**より**「春」**。『四季』は、作曲者が残した500を超える協奏曲の中でも特に知られた作品で、“バロック音楽の代名詞”と称されています。全体はヴァイオリン協奏曲が4曲続く形ですが、本来は1725年に出版された協奏曲集『和声と創意への試み Op.8』全12曲中の第1～4曲にあたります。これらは四季の自然や人間の営みを描いた音楽で、風や動物の鳴き声等々の状況を綴った「ソネット」（定型抒情詩）が添えられ、それに則した音楽が展開されます。以下、〈 〉内はソネットの大意です。



第1曲「春」は、春の到来の喜びを描いた明るい音楽。**第1楽章：アレグロ**〈春がきた。小鳥たちも陽気に歌う。嵐が襲い、静まると再び小鳥たちが歌う〉、**第2楽章：ラルゴ**〈花ざかりの牧場。羊飼いが犬を傍らにまどろむ〉、第



現在はトルコ共和国内にいるが、かつてはアルメニア人の多くが住んでいた地域に位置し、アルメニア民族の心のふるさととされるアララト山 ©stock.adobe.com

3楽章：アレグロ「田園舞曲」〈輝く春空のもと、ニンフと羊飼いたちが陽気な調べに合わせて踊る〉が続きます。

民族的情緒溢れるチャイコフスキーならではの旋律美

おつぎは、ロシア最大の作曲家**ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー**（1840-1893）の**ヴァイオリン協奏曲より第1楽章**。1877年夏に結婚し、直後に破綻したチャイコフスキーは、10月から翌年4月までヨーロッパで静養します。本作はその際の1878年3～4月にスイスのクランで書かれた作品。チャイコフスキーはロシアの第一人者アウアーに初演を依頼するも、「演奏不能」との理由で拒否されます。しかし同国のドイツ系奏者**ブロズキー**が尽力し、1881年にウィーンで初演されました。当初の評判は散々でしたが、ブロズキーが積極的に紹介し続けた結果、人気を獲得し、遂にはアウアーも演奏するようになりました。曲は、情熱と哀愁に充ちた、協奏曲としては民族的情緒が濃い音楽。チャイコフスキーならではの旋律美やヴァイオリンの華やかな技巧が際立っています。



第1楽章は、アレグロ・モデラート—モデラート・アッサイ。2つの主題を中心に華やかさと哀感が交錯しながら進行し、技巧的なソロが縦横に展開されます。

ヴァイオリンの技巧を駆使した華麗で軽快な第3楽章

協奏曲の最後は、ドイツ初期ロマン派の代表格**フェリックス・メンデルスゾーン** (1809-1847) の**ヴァイオリン協奏曲より第3楽章**。メンデルスゾーンは1838年、自身常任指揮者を務めるライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団のコンサートマスターで友人のダーヴィトのために構想を開始しました。しかし創作は難航。ダーヴィトの助言を仰ぎながら、1844年によりやうく完成し、翌年初演されました。曲は、古典的な均整美と甘美なロマンティシズムが溶け合った名品。



フェルディナント・ダーヴィト

全3楽章が切れ目なく演奏される点が特徴で、第1楽章冒頭の旋律も有名ですが、今回は華やかな終楽章が演奏されます。

第3楽章は、アレグレット・ノン・トロッポ—アレグロ・モルト・ヴィヴァーチェ。短い経過部から澆刺たる2つの主題を軸にした主部へ移り、ヴァイオリンの技巧を駆使した華麗な音楽がテンポよく繰り広げられます。

「ジャジャジャ・ジャーン」はまさにクラシック音楽の象徴

後半は、ドイツに生まれウィーンで活躍した古典派の巨匠**ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン** (1770-1827) の**交響曲第5番『運命』**。インパクトのある出だしで知られた、クラシック音楽の象徴ともいえる作品です。“傑作の森”と呼ばれる創作中期の1808年に、対照的な曲調の第6番『田園』と相前後して作曲され、12月に2曲併せて初演されました。なお、曲を特徴付ける「ジャジャジャ・



ジャー」の4音＝「運命動機」を緊密に練り上げるまでには、かなりの推敲が重ねられた模様。また『運命』の愛称は、「ベートーヴェンが冒頭の4音を『運命はこのようにして扉を叩く』と述べた」という弟子シンドラーが伝える逸話に由来していますが、彼の伝える話は捏造が多く、これも信憑性は低いとされています。

ベートーヴェンは、9つの交響曲の1曲ごとに新機軸を打ち出しましたが、本作はそれがとりわけ顕著に示されています。全体としては、「ハ短調の第1楽章からハ長調の第4楽章へ」、すなわち「闘争から勝利へ」「暗から明へ」の構図が大きな特徴。さらには、旋律ではなく4音の動機を軸に据えた稀有の発想、その「運命動機」が全楽章に登場する統一性の高い構成、第3楽章の最後を盛り上げたまま第4楽章に入る斬新な手法、交響曲史上初となるピッコロ、コントラファゴット、トロンボーンの使用(すべて第4楽章のみ)など、独創的な要素が満載されています。

第1楽章：アレグロ・コン・ブリオ。「運命動機」の連続によって緻密に構築されていく、緊迫感に充ちた楽章。

第2楽章：アンダンテ・コン・モート。伸びやかな第1主題と上行する第2主題(伴奏リズムが「運命動機」)に基づく自由な変奏曲。美しくも雄大な音楽です。

第3楽章：アレグロ。いわゆるスケルツォの楽章。沸き出るような低音の主題と、ホルンで出される「運命動機」を中心とした主部に、低音弦楽器が激しく動く中間部が挟まれます。最後は不気味な音楽が徐々に盛り上がり、頂点で第4楽章へ移ります。

第4楽章：アレグロ。輝かしい凱歌のような第1主題で開始。滑るような第2主題をまじえながら、果てしなく高揚していきます。

しばた・かつひこ(音楽ライター)／音楽マネージメント勤務を経て、フリーランスの音楽ライター、評論家、編集者となる。雑誌、公演プログラム、Web、宣伝媒体、CDブックレット等への寄稿、プログラム等の編集業務のほか、一般向けの講演や講座も行うなど、幅広く活動中。著書に「山本直純と小澤征爾」(朝日新書)、「吹奏楽編曲されているクラシック名曲集」(音楽之友社)。

次回の 午後のコンサート

お客様の質問募集中!

休日

第98回
休日の午後のコンサート

9月3日(日) 14:00開演
東京オペラシティ コンサートホール

《コバケン・ベートーヴェン!》

指揮とお話: 小林研一郎

ピアノ: 小林亜矢乃*

ベートーヴェン／

劇音楽『エグモント』序曲

ピアノ協奏曲第3番*

交響曲第6番『田園』より第1楽章

交響曲第7番より第2楽章

交響曲第3番『英雄』より第4楽章



小林研一郎 福島県いわき市出身。名実ともに日本を代表する指揮者として第一線で活躍を続けるマエストロ。ベートーヴェンとチャイコフスキーは国内外で数多くの名演を繰り広げ、交響曲全曲演奏も達成した“十八番”中の“十八番”。東京フィル「午後のコンサート」への出演も数多く、温かみあふれるトークでも人気を博す。

小林亜矢乃 東京音楽大学、ケルン音楽院を首席卒業、多数の国際コンクールにて上位入賞。多数のオーケストラとの共演、各地の音楽祭やリサイタル、チャリティ公演やトーク付公演、音楽鑑賞教室への出演など、幅広く国内外で活躍し放送演奏にも多数出演。類稀な深みのある音楽で今後の活躍が期待されている。

渋谷

第18回
渋谷の午後のコンサート

7月9日(日) 14:00開演
Bunkamura オーチャードホール

《コバケン・クライマックス》

指揮とお話: 小林研一郎

ヴァイオリン: 服部百音*

チャイコフスキー／

ヴァイオリン協奏曲より第1楽章*

交響曲第4番より第1楽章

交響曲第6番『悲愴』より第2楽章

交響曲第5番より第4楽章 ほか

平日

第30回
平日の午後のコンサート

7月6日(木) 14:00開演
東京オペラシティ コンサートホール

《コバケン・クライマックス》

指揮とお話: 小林研一郎

ピアノ: 小林亜矢乃*

チャイコフスキー／

ピアノ協奏曲第1番より第1楽章*

交響曲第4番より第1楽章

交響曲第6番『悲愴』より第2楽章

交響曲第5番より第4楽章 ほか

お申込み・お問合せは
東京フィル
チケットサービスまで

03-5353-9522 (平日10時～18時/土日祝休 発売日の土日祝は10時～16時営業)
<https://www.tpo.or.jp/> (24時間受付・座席選択可)

午後のコンサート 2023シーズンのラインナップ

「午後のコンサート」2023シーズンは、4回セット券でご来場されるお客様が3シリーズで9割を超え、シーズンを通してオーケストラの名曲と音楽家のとおきのお話をお楽しみいただいております。ただ今、7月・8月・9月公演の1回券を発売中です。気になる公演がございましたらお早めにお申し込みください。皆様のご来場をお待ちしております。

渋谷の午後のコンサート 会場:Bunkamuraオーチャードホール 開演14:00

7月9日(日)

第18回

《コパケン・クライマックス》

指揮とお話:

小林研一郎

ヴァイオリン:

服部百音

※7月6日「平日の午後のコンサート」と一部同演目です。

1回券
発売中



◎山本倫子 ◎Yuji Inagaki

9月18日(月・祝)

第19回

《秋の大感謝祭》

指揮とお話:

角田鋼亮

ゲスト(ピアノ):

園田隆一郎、

三ツ橋敬子

1回券
発売中



◎Hikaru Hoshi ◎Earl Ross

11月5日(日)

第20回

《なんでもOKストラ!!》

指揮とお話:

円光寺雅彦

ピアノ:

清塚信也

※11月6日「平日の午後のコンサート」と同演目です。

1回券
8月発売



◎三浦興一 ◎Yuji Takeuchi

※東急百貨店本店跡地の再開発に伴い、「渋谷の午後のコンサート」は当面の間、週末の開催になります。

平日の午後のコンサート 会場:東京オペラシティ コンサートホール 開演14:00(託児可)

7月6日(木)

第30回

《コパケン・クライマックス》

指揮とお話:

小林研一郎

ピアノ:

小林亜矢乃

※7月9日「渋谷の午後のコンサート」と一部同演目です。

1回券
発売中



◎山本倫子 ◎Hiromi Uchida

8月7日(月)

第31回

《真夏の午後の夢》

指揮とお話:

出口大地

ピアノ:

清水和音

1回券
発売中



◎hiro.pberg_berlin ◎Mana Miki

11月6日(月)

第32回

《なんでもOKストラ!!》

指揮とお話:

円光寺雅彦

ピアノ:

清塚信也

※11月5日「渋谷の午後のコンサート」と同演目です。

1回券
8月発売



◎三浦興一 ◎Yuji Takeuchi

休日の午後のコンサート 会場:東京オペラシティ コンサートホール 開演14:00(託児可)

9月3日(日)

第98回

〈コバケンのベートーヴェン!〉

指揮とお話:

小林研一郎

ピアノ:

小林亜矢乃

1回券
発売中



©上野隆文 ©Hiromi Uchida

12月3日(日)

第99回

〈クリスマス in ニューヨーク〉

指揮とお話:

円光寺雅彦

ヴァイオリン:

廣津留すみれ

1回券
8月発売



©K.Miura ©Ryuto Kurokawa

曲目等詳細は東京フィルウェブサイトをご覧ください。

午後のコンサート。 2023シーズンの発売スケジュールについて

◆7月・8月・9月公演1回券発売中

◆11月・12月公演1回券の発売スケジュール

最優先※お電話のみ(賛助会員様、定期会員様)	8/22(火)10:00
優先※お電話のみ(東京フィルフレンズ会員様)	8/26(土)10:00
優先(WEB優先発売)	8/26(土)10:00~9/4(月)23:59
一般発売	9/5(火)10:00

チケット料金	S席	A席	B席	C席
1回券(定価)	¥5,700	¥4,600	¥3,100	¥2,100
(東京フィルフレンズ会員)	¥5,130	¥4,140	¥2,790	¥1,890

※1回券は4回セット券の販売後、残席ある場合のみ販売いたします。

すでに残席が少ないシリーズやセット券で完売している席種もございます。詳しくはお問合せください。

お問合せ・お申込み 東京フィルチケットサービス

03-5353-9522 (平日10時~18時/土日祝休 発売日の土日祝は10時~16時で営業)

東京フィルWEBチケットサービス <https://www.tpo.or.jp/>



2023シーズン 今後の定期演奏会

東京フィルの2023シーズン定期演奏会、今季も名匠と俊英のタクトのもと、活躍目覚ましい音楽家たちとの協演でお届けしています。6月定期は生誕150年を迎えたラフマニノフの作品を名匠尾高忠明とともに。“オペラの東京フィル”が誇る《オペラ演奏会形式》上演は、名誉音楽監督チョン・ミョンフンによるヴェルディの傑作『オテロ』（7月定期演奏会）。10月は初来日のクロエ・デュフレヌとの『幻想交響曲』、シーズンファイナルの11月定期は首席指揮者バッティストーニとの〈チャイコフスキーとシェイクスピア〉特集です。下半期も注目公演が盛りだくさん、どうぞお聴き逃しなく！

6
月

指揮: 尾高忠明 (桂冠指揮者)

ピアノ: 亀井聖矢*

(2022年ロンドンティボー国際音楽コンクールピアノ部門優勝)

第155回 6月23日(金) 19:00

東京オペラシティ コンサートホール

第986回 6月25日(日) 15:00

Bunkamuraオーチャードホール

第987回 6月27日(火) 19:00

サントリーホール

尾高惇忠／オーケストラのための『イメージ』

ラフマニノフ／ピアノ協奏曲第2番*

ラフマニノフ／交響曲第1番

(ラフマニノフ生誕150年)



◀
聴きどころは
こちらから

1回券発売中

7
月

指揮: チョン・ミョンフン

(名誉音楽監督)

第988回 7月23日(日) 15:00

Bunkamuraオーチャードホール

第156回 7月27日(木) 19:00

東京オペラシティ コンサートホール

第989回 7月31日(月) 19:00

サントリーホール

ヴェルディ／
歌劇『オテロ』

◀ オペラ演奏会形式 ▶

オテロ: グレゴリー・クンデ

デズデーモナ: 小林厚子

イアーゴ: ダリボール・イエニス

ロドヴィーコ: 相沢 創

カッシオ: フランチェスコ・マルシーリア

エミーリア: 中島郁子

ロデリーゴ: 村上敏明

モンターノ: 青山 貴

伝令: タン・ジュンボ

合唱: 新国立劇場合唱団

(合唱指揮: 富平恭平)



◀
聴きどころは
こちらから

1回券発売中

10
月

指揮: クロエ・デュフレヌ
(2021年ブザンソン国際指揮者コンクール聴衆賞、オーケストラ賞)

ヴァイオリン: 中野りな*
(2022年仙台国際音楽コンクール優勝)

第157回 10月18日(水) 19:00
東京オペラシティ コンサートホール

第990回 10月19日(木) 19:00
サントリーホール

第991回 10月22日(日) 15:00
Bunkamuraオーチャードホール

リリ・ブーランジェ／春の朝に
(リリ・ブーランジェ生誕130年)
サン＝サーンス／ヴァイオリン協奏曲第3番*
ベルリオーズ／幻想交響曲



◀
聴きどころは
こちらから

1回券発売中

11
月

指揮: アンドレア・バッティストーニ
(首席指揮者)
チェロ: 佐藤晴真*
(2019年ARDミュンヘン国際音楽コンクール優勝)

第992回 11月10日(金) 19:00
サントリーホール

第993回 11月12日(日) 15:00
Bunkamuraオーチャードホール

第158回 11月16日(木) 19:00
東京オペラシティ コンサートホール

チャイコフスキー／幻想曲『テンペスト』
チャイコフスキー／
ロココの主題による変奏曲*
チャイコフスキー／幻想序曲『ハムレット』
チャイコフスキー／
幻想序曲『ロメオとジュリエット』
(チャイコフスキー没後130年)



◀
聴きどころは
こちらから

1回券発売中

お問い合わせ 東京フィルチケットサービス

Tel 03-5353-9522 (平日10時～18時・土日祝日休／
発売日の土日祝は10時～16時)
URL www.tpo.or.jp/(24時間受付・座席選択可)

詳細は



News & Information

ハートフルコンサート 開催決定! チケット好評発売中

毎年恒例のハートフルコンサートの概要が決定いたしました。
女優・ユニセフ親善大使で東京フィル副理事長でもある黒柳徹子
のお話で、毎年8月15日に開催する平和を願うコンサート。歌手の
森山良子さんをゲストに迎え、心温まるコンサートをお届けします。

日時 8月15日(火)14:00開演(13:00開場)

会場 東京芸術劇場 コンサートホール

出演 黒柳徹子(お話)／森山良子(歌)／円光寺雅彦(指揮)／東京フィルハーモニー交響楽団(管弦楽)

曲目 エルガー／行進曲『威風堂々』第1番
ヴォルフ＝フェラーリ／歌劇『マドンナの宝石』間奏曲
寺島尚彦／さとうきび畑*
ストラヴィンスキー／バレエ音楽『火の鳥』(1919年版) ほか

料金(全席指定) S席¥6,200 A席¥5,100円 B席¥4,100 C席¥3,600 車椅子席¥3,100

問合せ 東京フィルチケットサービス03-5353-9522(平日10:00～18:00)



©下村一高



メンバー出演情報

三浦章宏、J.S.バッハを弾く。～無伴奏ヴァイオリンリサイタル～

東京フィルハーモニー交響楽団コンサートマスターの三浦章宏が、深く敬愛し自身のライフワークに掲げるJ.S.バッハの無伴奏ヴァイオリン曲を奏でる音楽会。

日時 7月14日(金)19:00開演(18:30開場)

会場 かつしかシンフォニーヒルズ・アイリスホール
(JR日暮里から京成本線快速で2駅「青砥」徒歩5分)

出演 三浦章宏(ヴァイオリン)

曲目 J.S.バッハ／無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ 第1番 BWV1001
無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ 第2番 BWV1004
無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ 第3番 BWV1006

料金 ¥5,000(全席指定)

問合せ 陽向企画コンサート企画部Webサイト
<https://youkouconcert.studio.site/> (youkouconcert で検索)

※SNSアカウント(Twitter／Instagram／Facebook)からもお問合せ頂けます。



©Yoshinori Kurosawa

Photo Reports 2023年4～5月の演奏会より

4月・5月は人気シリーズ「午後のコンサート」のシーズン開幕3公演、提携都市である軽井沢の町制100年を祝う軽井沢大賀ホール2023春の音楽祭、そして特別客演指揮者ミハイル・プレトニョフによるラフマニノフ生誕150年を寿ぐ5月定期演奏会と華やいだ公演が続きました。

写真＝上野隆文(4/15、5/10)

第96回 休日の午後のコンサート 〈クラシックの車窓から〉(4/15)

指揮とお話：和田一樹 サクソフォン：上野耕平*
ゲスト：酒井格(作曲家)
コンサートマスター：三浦章宏

J.シュトラウス／ボルカ『観光列車』
オネゲル／『機関車パシフィック231』
酒井格／シーサス・クロッシング*

【ソリスト・アンコール】ポノー／ワルツ形式による
無伴奏カプリス

和田一樹／京王ライナーオリジナルBGM
「K05000」(ヴァイオリン独奏：三浦章宏)

ドヴォルザーク／交響曲第9番『新世界より』

【オーケストラ・アンコール】和田一樹／京王ライナーオリジナルBGM「K05000」(サクソフォン独奏：上野耕平)

協力：京王電鉄株式会社



京王電鉄株式会社様のご協力により、マエストロとソリスト上野耕平さんが鉄道マンの制服を着て登場。会場が笑顔に包まれました

第29回 平日の午後のコンサート 〈春のイチバン〉(5/1)

指揮とお話：角田鋼亮 ピアノ：五十嵐薫子*
コンサートマスター：依田真宣

モーツァルト／歌劇『フィガロの結婚』序曲
リスト／ピアノ協奏曲第1番*

【ソリスト・アンコール】シューマン(リスト編)／
献呈

シューマン／交響曲第1番『春』

エルガー／行進曲『威風堂々』第1番

【オーケストラ・アンコール】チャイコフスキー／
弦楽セレナードより第2楽章“ワルツ”



昨年ジュネーヴ国際コンクールピアノ部門に入賞した五十嵐薫子さんが登場。マエストロ角田との楽しいお話と入魂の演奏をお届けしました

軽井沢町制施行100周年記念【軽井沢大賀ホール2023春の音楽祭】

●期待の指揮者とチェリストのオープニングを飾る共演 !!

指揮：角田鋼亮／チェロ：上野通明(4/29)

●世界の巨匠の指揮とヴィオラ、気鋭ヴァイオリンと至高の協演!!

指揮とヴィオラ：ピンカス・ズーカerman／ヴァイオリン：三浦文彰(5/4)

第17回 渋谷の午後のコンサート 〈マエストロ・ズーカerman〉 (5/7)

指揮とヴィオラとお話：

ピンカス・ズーカerman

ヴァイオリン：三浦文彰*

コンサートマスター：三浦章宏

モーツァルト／歌劇『魔笛』序曲

モーツァルト／ヴァイオリンとヴィオラの
 ための協奏交響曲*

ベートーヴェン／交響曲第7番



「ヴァイオリンとヴィオラのための協奏交響曲」はズーカerman氏の「弾き振り」と三浦文彰氏のヴァイオリンでお届け。メインプログラム終了後にマエストロの熱いトークが繰り広げられました。お話のレポートは東京フィルの公式 SNS でもご覧いただけます

5月定期演奏会 (5/10、12、14)

指揮：ミハイル・プレトニョフ(特別客演指揮者)

コンサートマスター：依田真宣

〈ラフマニノフ生誕150年〉

ラフマニノフ／幻想曲『岩』

ラフマニノフ／交響詩『死の島』

ラフマニノフ／交響的舞曲



ピアニスト・作曲家・指揮者として、マエストロプレトニョフの偉大な“先輩”にあたるラフマニノフの生涯をたどる3つの管弦楽作品をお届けしました



入魂のプログラムを披露したマエストロ。カーテンコールでは笑顔でオーケストラメンバーをねぎらいました

先端科学技術と「こころ」

東京大学先端科学技術研究センター 所長
杉山 正和



東京フィルのゆかりの方々に、クラシック音楽に魅了されたきっかけや音楽生活について綴っていただく本連載。今回は、2020年から東京フィルが連携協定を結んでいる、東京大学先端科学技術研究センター教授／所長で、再生可能エネルギーシステムをご専門とする工学博士の杉山正和先生に、オーケストラとの連携によせた考えを綴っていただきました。

宇宙に向かって語る。これは哲学ではなく、大学教員がコロナ禍で遭遇した困難の最たるもの——ネット講義でした。聴いている（はずの）学生は画面の中の黒い枠でしかなく、聴衆の反応をリアルタイムで感じられない中で講義を続けるのは、耐え難い試練でした。講義の途中で、聴いている学生ではなく、話している私が居眠りしそうになったくらいです。誰もいないホールから演奏をネット配信していたオーケストラの皆様はさぞかし辛かったことでしょう。でも、楽員同士のコミュニケーションは取れていましたよね。コンサート会場では、聴覚と視覚だけでなく、現在の科学では必ずしも明確には記述できない手段によるコミュニケーションが、指揮者と楽員の間だけでなく、聴衆も巻き込んでつねに展開されている。だから生のコンサートは、毎回が唯一無二の体験になるのだと思います。

私の所属する東京大学先端科学技術研究センター（先端研）は、特定の学問分野を極めるのではなく、異分野の学知を融合させて、時代が求める「先端」を創り出すことを使命としています。科学技術という言葉から想像される、いわゆる理系の研究者だけでなく、政治学、国際安全保障、ルール形成、さらにはバリアフリーや社会包摂の研究者が1つのキャンパスに集まった、大変ユニークな研究所です。大学の研

2022年、東大先端研主催による「高野山会議2022」での高野山金剛峯寺本坊 土室の間での弦楽四重奏 ©照井壮平



究所のほとんどは、特定の専門分野を深掘りします。いわば、弦楽、木管、

金管、打楽器、それぞれの楽器群のアンサンブルに相当します。それに対して、私たち先端研は、中規模ながらすべての楽器が揃い、しかも伝統的な楽器だけでなく電子楽器まで含めたオーケストラに例えられましょう。想いを伝えるメロディーやリズムに応じて、自在に楽器の組み合わせを変えて聴衆の心を動かしたいと、つねに研鑽を積んでいます。多様な学理を融合させることは、言うは易く行うは難しの典型です。分野が多岐にわたるので、理屈だけで協力し合うことは、先端研の精鋭たちでも不可能です。すべての研究者の領域を深く理解することは、所長にすら不可能です。では、どうやって異分野の学問のアンサンブルを創り上げるのか？ その答えは「こころ」にあります。問題を解決してより良い社会を創ろうとする研究者をつなぐのは、「こころ」の共鳴、感動体験だと思えます。複雑な社会の問題に取り組む研究者にいま求められるのは、豊かな感性だと私は信じています。ですから、私たち先端研は、東京フィルと連携協定を結ばせていただき、「こころ」を豊かにする社会の創造を目指しているのです。

これからの科学技術は、人間が自然を支配するのではなく、人間が自然と共存するためにあるべきだと私たちは考えます。自然と通じ合う「こころ」は、日本人が大切に育んできたものではないでしょうか。先端研は、多様性を受け入れ自然と調和する哲学を育んだ高野山を舞台に、高野山会議を開催しています。ここでも、近藤薫特任教授が率いる東京フィルメンバーが、理性だけでなく感性での対話を促すために大活躍してくれました。高野山金剛峯寺のお台所で弦楽四重奏、奥之院の暗闇でのナイトコンサート、そして弘法大師肖像の前での弦楽オーケストラなど、高野山の環境が西洋音楽を包摂した波のなかで私たちの感性が高まり、未来の社会と科学技術の方向性を熱く議論することができました。

杉山 正和(すぎやま まさかず)／1972年静岡県生まれ。1995年東京大学工学部卒業。2000年同大学工学系研究科博士課程修了。同研究科助手、講師、准教授を経て、2017年東京大学先端科学技術研究センター教授。2022年より同センター所長を務める。専門は再生可能エネルギーシステム。

長雨の季節ですが、
皆様におかれましてはお健やかに過ごしのことと存じます。
今月はマエストロのお話と共に、
ソリストと楽団の調和が生み出す響きをぜひご堪能ください。
引き続き、当楽団を何卒よろしくお願い申し上げます。



東京フィルハーモニー交響楽団 理事長 三木谷 浩史

賛助会

東京フィルハーモニー交響楽団の活動は、皆様のご寄附により支えていただいております。
ここに法人ならびに個人賛助会員（パートナー会員）の皆様のご芳名を掲げ、
改めて御礼申し上げます。

オフィシャル・サプライヤー（敬称略）

ソニーグループ株式会社	代表執行役 社長 COO 兼 CFO	十時 裕樹
楽天グループ株式会社	代表取締役会長兼社長	三木谷 浩史
株式会社マルハン	代表取締役 会長	韓 昌祐
株式会社ロッテ	代表取締役社長執行役員	牛腸 栄一
株式会社ゆうちょ銀行	取締役兼代表執行役社長	池田 憲人

法人会員

賛助会員（五十音順・敬称略）

(株)IIIH 代表取締役社長 井手 博	(株)インターテキスト 代表取締役 海野 裕	(公財)オリックス宮内財団 代表理事 宮内 義彦
(株)アイエムエス 取締役会長 前野 武史	ANAホールディングス(株) 代表取締役社長 芝田 浩二	カシオ計算機(株) 代表取締役 会長 樫尾 和宏
(医)相澤内科医院 理事長 相澤 研一	(株)NHKエンタープライズ 代表取締役社長 松本 浩司	キヤノン(株) 代表取締役会長兼社長 CEO 御手洗 富士夫
アイ・システム(株) 代表取締役会長 松崎 務	大塚化学(株) 特別相談役 大塚 雄二郎	(株)グリーンハウス 代表取締役社長 田沼 千秋
(株)アシックス 取締役会長 尾山 基	(株)オーディオテクニカ 代表取締役社長 松下 和雄	サントリーホールディングス(株) 代表取締役社長 新浪 剛史

信金中央金庫
理事長 柴田 弘之

(株)J.Y.PLANNING
代表取締役 遅澤 准

(株)滋慶
代表取締役社長 田仲 豊徳

(株)ジーヴァエナジー
代表取締役社長 金田 直己

菅波楽器(株)
代表取締役社長 菅波 康郎

相互物産(株)
代表取締役会長 小澤 勉

ソニーグループ(株)
代表執行役 社長 COO 兼 CFO 十時 裕樹

ソニー生命保険(株)
代表取締役社長 萩本 友男

(株)ソニー・ミュージックエンタテインメント
代表取締役社長CEO 村松 俊亮

(株)大丸松坂屋百貨店
代表取締役社長 澤田 太郎

都築学園グループ
総長 都築 仁子

東急(株)
取締役社長 高橋 和夫

東京オペラシティビル(株)
代表取締役社長 長島 誠

東レ(株)
代表取締役社長 日覺 昭廣

TOPPANエッジ(株)
代表取締役社長 添田 秀樹

DOWAホールディングス(株)
代表取締役社長 関口 明

(株)ニチケアパレス
代表取締役社長 秋山 幸男

(株)ニフコ
代表取締役会長 山本 利行

日本ライフライン(株)
代表取締役社長 鈴木 啓介

(株)パラダイスインターナショナル
代表取締役 新井 秀之

富士電機(株)
代表取締役会長 CEO 北澤 通宏

(株)不二家
代表取締役社長 河村 宣行

(株)三井住友銀行
頭取CEO 福留 朗裕

三菱地所(株)
執行役社長 中島 篤

三菱倉庫(株)
相談役 宮崎 毅

(株)三菱UFJ銀行
特別顧問 小山田 隆

ミライラボバイオサイエンス(株)
代表取締役 田中 めぐみ

(株)明治
代表取締役社長 松田 克也

森ビル(株)
代表取締役社長 辻 慎吾

ヤマトホールディングス(株)
代表取締役社長 長尾 裕

(株)山野楽器
代表取締役社長 山野 政彦

ユニオンツール(株)
代表取締役会長 片山 貴雄

(医)ユベンシア
理事長 今西 宏明

楽天グループ(株)
代表取締役会長兼社長 三木谷 浩史

(株)リソー教育
取締役会長 岩佐 実次

後援会員

(株)アグレックス
代表取締役社長 山本 修司

(医)エレソル たにぐちファミリークリニック
理事長 谷口 聡

欧文印刷(株)
代表取締役社長 和田 美佐雄

(有)オルテンシア
代表取締役 雨宮 睦美

(医)カリタス菊山医院
理事長 加藤 徹

(医)だて内科クリニック
理事長 伊達 太郎

(宗)東京大仏・乗蓮寺
代表役員 若林 隆壽

(一社)凸版印刷三幸会
代表理事 金子 眞吾

(株)トレミール
代表取締役 茶谷 幸司

(株)日税ビジネスサービス
代表取締役会長兼社長 吉田 雅俊

(株)ネスト
代表取締役 太田 潤

富士通(株)
代表取締役社長 時田 隆仁

本田技研工業(株)
取締役 代表執行役社長 三部 敏宏

三菱電機(株)
執行役社長 漆間 啓

ご支援の御礼とお願い

昨今の社会情勢において、皆様からたくさんの励ましのお言葉とともに、東京フィルに温かいご支援をいただいておりますこと、心より御礼申し上げます。

東京フィルハーモニー交響楽団は、1911年(明治44年)に創設され、この西洋発祥の音楽文化を日本の近代化の中でいち早く受容し、様々な試行錯誤を繰り返しつつ、音楽を社会に届けるという使命を貫いて参りました。

東京フィルは世界でも数少ない自主運営の楽団です。

今後さらに安定的・発展的な財政基盤を構築し、いっそうの発展をはかるために、皆様のご寄附が力となります。

皆様におかれましては、あらためて当団を取り巻く状況についてご理解を賜りますとともに、一層のご支援・ご助力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。東京フィルが取り組む、実り豊かな未来を創る活動へのご支援をお願い申し上げます。

弊団へのご寄附をいただけます際には、こちらの口座のいずれかにお振込みいただけましたら幸いです。個人として1万円以上、法人として30万円以上のご寄附をご検討いただける際は、賛助会(次ページ)も併せてご覧ください。

金融機関名	口座番号	口座名義
ゆうちょ銀行(郵便振替)	00120-2-30370	公益財団法人
三井住友銀行・ 東京公務部(096)	普通預金 3003239	東京フィルハーモニー 交響楽団

※ ご寄附の金額は自由に設定いただけます。

※ 振込手数料、通信費は恐れ入りますがご負担くださいますようお願い申し上げます。

※ 領収証書が必要な方は、お手数ですがお振込後に、別途配布しております「寄附申込書」に必要事項をご記入の上、下記へご送付ください。

寄附申込書はこちらからも取得いただけます。

https://www.tpo.or.jp/support/img/support_TPO.pdf



【ご支援のお問合せ／寄附申込書 送付先】

公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団・広報渉外部 寄附担当
〒163-1408 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー8階
Fax 03-5353-9523 Eメール: partner@tpo.or.jp
Tel 03-5353-9521(土日祝日を除く10時～18時)

東京フィル 賛助会 会員募集中

2023年に東京フィルハーモニー交響楽団は創立112年を迎えました。

これまでの歩みは、東京フィルとその音楽を愛する皆様の日頃からの大きなご支援とご助力なしには実現しえないものでした。心より御礼申し上げます。

東京フィルは1月をシーズンのスタートに据え、年間を通じて皆様の暮らしに音楽をお届けしてまいります。国際的に活躍する音楽家や将来を嘱望される若い演奏家を招いての定期演奏会や「午後のコンサート」シリーズ、「第九」「ニューイヤーコンサート」などの特別演奏会や提携都市公演、学校や公共施設での音楽活動を通じ、今後とも社会に広くオーケストラの価値を認知いただけるよう活動を続けてまいります。この活動を通じて、日本の芸術文化の発展に寄与し、今後ますます多様化・複雑化するグローバル社会において不可欠な心の豊かさ・寛容さを育み、次世代へと続く文化交流の懸け橋となるよう、より一層努めてまいります。

ぜひとも皆様方からの継続的なご支援を賜りますよう、謹んでお願い申し上げます。

東京フィルハーモニー交響楽団

賛助会(法人／パートナー(個人))会員の種別

種別		年会費1口
オフィシャル・サプライヤー		詳細はお問い合わせください。
法人会員	賛助会員	50万円
	後援会員	30万円
	ワンハンドレッドクラブ	100万円
	フィルハーモニー	50万円
パートナー会員	シンフォニー	30万円
	コンチェルト	10万円
	ラプソディ	5万円
	インテルメッツォ	3万円
	プレリュード	1万円

※東京フィルハーモニー交響楽団は内閣府により「公益財団法人」に認定されており、ご寄附の金額に応じて税法上の優遇措置を受けることができます。
その他特典、お申込みや資料請求など、詳しくは東京フィル広報渉外部担当へお問合せください。

寄附をご検討くださいます際には、主催公演会場「ご支援カウンター」または東京フィル担当(partner@tpo.or.jp)までお尋ねください。資料をお送りいたします。ご入会後は、1年ごとに継続のご案内をお送りいたします。

【賛助会に関するお問合せ・お申込み】

東京フィルハーモニー交響楽団 広報渉外部(担当: 星野^{かのまた}・鹿丈)

電話: 03-5353-9521(平日10時~18時) Eメール: partner@tpo.or.jp

皆様のご寄附は東京フィルの様々な活動を支えています。

フランチャイズ・ホール、事業提携都市との連携

東京フィルは、フランチャイズ・ホールであるBunkamuraオーチャードホール等での定期演奏会の他、東京都文京区、千葉県千葉市、長野県軽井沢町、新潟県長岡市の各地域と事業提携を結び、定期演奏会、親子のためのコンサートや中高生などへの楽器ワークショップ等、地域の皆様との交流を通じ音楽の魅力をお届けしています。

文化庁「文化芸術による子供育成推進事業 巡回公演事業」

文化庁が主催する本事業として、日本全国の小中学校や特別支援学校を訪問し、一流の文化芸術団体による巡回公演を行っています。東京フィルは国内オーケストラでは唯一、文化庁から8年間の長期採択を受け(2014～2021年度)、東日本大震災地域を含む北海道・東北地区の小中学校115校、のべ46,279名の児童・生徒、地域の皆様と交流を行い、2019年度からは、これに加え、関東・東海・中国地区の小中学校61校のべ20,389名の児童・生徒に音楽をお届けしました。2022(令和4)年度からは、「文化芸術による子供育成推進事業」と事業名が変更となり、東京フィルは中国地区の担当として新たに長期採択(2022～2024年度)を受けました。今年度も6月から12月にかけて、小中学校を訪問し、ワークショップとオーケストラ公演を開催する予定です。



小学校体育館でのオーケストラ本公演

留学生の演奏会ご招待…留学生招待シート

東京フィルでは国際交流事業の一環として、海外からの留学生や研修員の方々を定期演奏会へご招待する「留学生招待シート」を設けており、皆様からご寄附いただいたチケットも有効に活用させていただきます。詳しくは東京フィルチケットサービス(03-5353-9522)までお問合せください。



定期演奏会に来場のJICA東京研修生の皆様とチョン・ミョンフン(2019年7月東京オペラシティ定期)

©上野隆文

特別公演、公演協賛、広告のご案内

東京フィルハーモニー交響楽団は、様々な音楽活動を通して、企業様の大切な節目である周年記念事業や式典、福利厚生イベント等でご活用いただけるオンリーワンの特別企画を展開しております。

- ・商品のプロモーションとして何か施策を考えたい
- ・社内向けイベントで室内楽の演奏を企画したい
- ・東京フィルの公演プログラムに広告を掲載したい
- ・新製品、サンプルを会場で販売・配布したい

どうぞお気軽にご用命ください。



日中交正常化45周年記念上海公演後のレセプションにて



主催公演のロビーでは東京フィルへのご支援についての資料をお配りしています

【広告・協賛のお問合せ】東京フィルハーモニー交響楽団 広報渉外部
電話: 03-5353-9521 (平日10時～18時) Eメール: partner@tpo.or.jp

当団の実施する新型コロナウイルス感染症予防対策について

- ・会場内でのマスク着脱はお客様ご自身の判断に委ねます。
 - ・会場内でブラボー等の声援をされるお客様にはマスクの着用を推奨いたします。
 - ・発熱等の体調不良のお客様にはご来場を控えていただきますようお願いいたします。
 - ・会場内では咳エチケットおよび手指消毒の実施をお願いいたします。
- 客席内は十分な換気を行っております。

ご協力、誠にありがとうございます。

東京フィルハーモニー交響楽団 1911年創立 楽団員

Tokyo Philharmonic Orchestra Since 1911 / Musicians

名誉音楽監督
Honorary Music Director

チョン・ヨンフン
Myung-Whun Chung

首席指揮者
Chief Conductor

アンドレア・バッティストーニ
Andrea Battistoni

桂冠指揮者
Conductor Laureate

尾高 忠明
Tadaaki Otaka

大野 和士
Kazushi Ono

ダン・エッティンガー
Dan Ettinger

特別客演指揮者
Special Guest Conductor

ミハイル・プレトニョフ
Mikhail Pletnev

アソシエイト・コンダクター
Associate Conductor

チョン・ミン
Min Chung

永久名誉指揮者
Permanent Honorary Conductor

山田 一雄
Kazuo Yamada

永久楽友・名誉指揮者
Permanent Member and
Honorary Conductor

大賀 典雄
Norio Ohga

コンサートマスター
Concertmasters

近藤 薫
Kaoru Kondo

三浦 章宏
Akihiro Miura

依田 真宜
Masanobu Yoda

第1ヴァイオリン
First Violins

小池 彩織☆
Saori Koike

榊原 菜若☆
Namo Sakakibara

坪井 夏美☆
Natsumi Tsuboi

平塚 佳子☆
Yoshiko Hiratsuka

浅見 善之
Yoshiyuki Asami

浦田 絵里
Eri Urata

景澤 恵子
Keiko Kagesawa

加藤 光
Hikaru Kato

巖築 朋美
Tomomi Ganchiku

坂口 正明
Masaaki Sakaguchi

鈴木 左久
Saku Suzuki

高田 あきの
Akino Takada

田中 秀子
Hideko Tanaka

栃本 三津子
Mitsuko Tochimoto

中澤 美紀
Miki Nakazawa

中丸 洋子
Hiroko Nakamaru

廣澤 育美
Ikumi Hirotsawa

弘田 聡子
Satoko Hirota

藤瀬 実沙子
Misako Fujise

松田 朋子
Tomoko Matsuda

第2ヴァイオリン
Second Violins

藤村 政芳◎
Masayoshi Fujimura

水鳥 路◎
Michi Mizutori

宮川 正雪◎
Masayuki Miyakawa

小島 愛子☆
Aiko Kojima

高瀬 真由子☆
Mayuko Takase

石原 千草
Chigusa Ishihara

出原 麻智子
Machiko Idehara

太田 慶
Kei Ota

葛西 理恵
Rie Kasai

佐藤 実江子
Mieko Sato

二宮 祐子
Yuko Ninomiya

本堂 祐香
Yuuka Hondo

山代 裕子
Yuko Yamashiro

吉田 智子
Tomoko Yoshida

吉永 安希子
Akiko Yoshinaga

若井 須和子
Suwako Wakai

渡邊 みな子
Minako Watanabe

ヴィオラ
Violas

須田 祥子◎
Sachiko Suda

須藤 三千代◎
Michio Suto

高平 純◎
Jun Takahira

加藤 大輔○
Daisuke Kato

今川 結☆
Yui Imagawa

杉浦 文☆
Aya Sugiura

伊藤 千絵
Chie Ito

岡保 文子
Ayako Okayasu

曾和 万里子
Mariko Sowa

高橋 映子
Eiko Takahashi

手塚 貴子
Takako Tezuka

中嶋 圭輔
Keisuke Nakajima

蛭海 たづ子
Tazuko Hirumi

古野 敦子
Atsuko Furuno

村上 直子
Naoko Murakami

森田 正治
Masaharu Morita

チェロ
Cellos金木 博幸◎
Hiroyuki Kanaki服部 誠◎
Makoto Hattori渡邊 辰紀◎
Tatsuki Watanabe黒川 実咲☆
Misaki Kurokawa高麗 正史☆
Masashi Korai石川 剛
Go Ishikawa大内 麻史
Mao Ouchi太田 徹
Tetsu Ota菊池 武英
Takehide Kikuchi佐々木 良伸
Yoshinobu Sasaki長谷川 陽子
Yoko Hasegawa渡邊 文月
Fuzuki Watanabeコントラバス
Contrabasses片岡 夢児◎
Yumeji Kataoka黒木 岩寿◎
Iwahisa Kuroki遠藤 柊一郎
Shuichiro Endo小笠原 茅乃
Kayano Ogasawara岡本 義輝
Yoshiteru Okamoto小栗 亮太
Ryota Oguri熊谷 麻弥
Maya Kumagai菅原 政彦
Masahiko Sugawara田邊 朋美
Tomomi Tanabe中村 元優
Motomasa Nakamuraフルート
Flutes神田 勇哉◎
Yuya Kanda斉藤 和志◎
Kazushi Saito吉岡 アカリ◎
Akari Yoshiokaさかはし 矢波
Yanami Sakahashiオーボエ
Oboes荒川 文吉◎
Bunkichi Arakawa加瀬 孝宏◎
Takahiro Kase佐竹 正史◎
Masashi Satake杉本 真木
Maki Sugimoto若林 沙弥香
Sayaka Wakabayashiクラリネット
Clarinetsアレッサンドロ・
ベヴェラリ◎
Alessandro Beverari万行 千秋◎
Chiaki Mangyo黒尾 文恵
Fumie Kuroo林 直樹
Naoki Hayashiファゴット
Bassoonsチェ・ヨンジン◎
Young-Jin Choe廣幡 敦子◎
Atsuko Hirohata井村 裕美
Hiromi Imura桔川 由美
Yumi Kikkawa森 純一
Junichi Moriホルン
Horns齋藤 雄介◎
Yusuke Saito高橋 臣宜◎
Takanori Takahashi磯部 保彦
Yasuhiko Isobe大東 周
Shu Ohigashi木村 俊介
Shunsuke Kimura田場 英子
Eiko Taba塚田 聡
Satoshi Tsukada豊田 万紀
Maki Toyoda山内 研自
Kenji Yamanouchi山本 友宏
Tomohiro Yamamotoトランペット
Trumpets川田 修一◎
Shuichi Kawata野田 亮◎
Ryo Noda古田 俊博◎
Toshihiro Furuta杉山 眞彦
Masahiko Sugiyama前田 寛人
Hirohito Maedaトロンボーン
Trombones中西 和泉◎
Izumi Nakanishi辻 姫子○
Himeko Tsuji石川 浩
Hiroshi Ishikawa五箇 正明
Masaaki Goka山内 正博
Masahiro Yamauchiテューバ
Tubas大塚 哲也
Tetsuya Otsuka荻野 晋
Shin Oginoティンパニ&
パーカッション
Timpani & Percussion岡部 亮登◎
Ryoto Okabe塩田 拓郎◎
Takuro Shiota秋田 孝訓
Takanori Akita木村 達志
Tatsushi Kimura鷹羽 香緒里
Kaori Takaba中村 勇輝
Yuki Nakamura縄田 喜久子
Kikuko Nawata船迫 優子
Yuko Funasako古谷 はるみ
Harumi Furuyaハープ
Harps梶 彩乃
Ayano Kaji田島 緑
Midori Tajimaライブラリアン
Librarians武田 基樹
Motoki Takedaステージマネージャー
Stage Managers稲岡 宏司
Hiroshi Inaoka大田 淳志
Atsushi Ota古谷 寛
Hiroshi Furuya◎首席奏者
Principal○副首席奏者
Assistant Principal☆フオアシュペラー
Vorspieler

東京フィルハーモニー交響楽団

1911年創立。日本で最も長い歴史をもつオーケストラ。メンバー約160名、シンフォニーオーケストラと劇場オーケストラの両機能を併せもつ。名誉音楽監督にチョン・ミョンフン、首席指揮者アンドレア・バッティストーニ、特別客演指揮者にミハイル・プレトニョフを擁する。Bunkamuraオーチャードホール、東京オペラシティ コンサートホール、サントリーホールでの定期演奏会や「渋谷／平日／休日の午後のコンサート」等の自主公演、新国立劇場等でのオペラ・バレエ演奏、『名曲アルバム』『NHKニューイヤーオペラコンサート』『題名のない音楽会』『東急ジルバスターコンサート』『NHK紅白歌合戦』『いないいないばあっ!』などの放送演奏により、全国の音楽ファンに親しまれる存在として高水準の演奏活動と様々な教育的活動を展開している。海外公演も積極的に行い、国内外から高い評価と注目を集めている。2020～21年のコロナ禍における取り組みはMBS『情熱大陸』、NHK BS1『BS1スペシャル 必ずよみがえる～魂のオーケストラ 1年半の闘い～』などのドキュメンタリー番組で取り上げられた。

1989年よりBunkamuraオーチャードホールとフランチャイズ契約を結んでいる。東京都文京区、千葉県千葉市、長野県軽井沢町、新潟県長岡市と事業提携を結び、各地域との教育的、創造的な文化交流を行っている。

Tokyo Philharmonic Orchestra

In 2023, the Tokyo Philharmonic Orchestra celebrates its 112th anniversary as Japan's first symphony orchestra. With about 160 musicians, TPO performs both symphonies and operas regularly. TPO is proud to have appointed Maestro Myung-Whun Chung, who has been conducting TPO since 2001, as Honorary Music Director, Maestro Andrea Battistoni as Chief Conductor and Maestro Mikhail Pletnev as Special Guest Conductor.

TPO has established its world-class reputation through its subscription concert series, regular opera and ballet assignments at the New National Theatre, and a full, ever in-demand agenda around Japan and the world, including broadcasting with NHK Broadcasting Corporation, various educational programs, and tours abroad.

TPO has partnerships with Bunkamura Orchard Hall, the Bunkyo Ward in Tokyo, Chiba City, Karuizawa Cho in Nagano and Nagaoka City in Niigata.

Official Website / SNS <https://www.tpo.or.jp/>    



©上野隆文

東京フィルWEB



役員等・事務局・団友

役員等(理事・監事および評議員)

理事長	理事	監事	評議員
三木谷 浩史	浮舟 邦彦	岩崎 守康	伊東 信一郎
	大賀 昭雄	山野 政彦	海老澤 敏
副理事長	大塚 雄二郎		佐治 信忠
黒柳 徹子	小山田 隆		鈴木 勲
専務理事	篠澤 恭助		鈴木 啓介
石丸 恭一	田沼 千秋		瀬谷 博道
	寺田 琢		日枝 久
常務理事	遠山 敦子		
工藤 真実	野本 弘文		
	韓 昌祐		
	平井 康文		
	宮内 義彦		

事務局

楽団長	公演事業部	ステージマネージャー	ライブラリアン	広報渉外部	総務・経理
石丸 恭一	市川 悠一	稲岡 宏司	武田 基樹	伊藤 唯	川原 明夫
	岩崎 井織	大田 淳志		鹿又 紀乃	鈴木 美絵
事務局長	大久保 里香	古谷 寛		千木 加寿子	
工藤 真実	大谷 絵梨奈			二木 憲史	
	佐藤 若菜			星野 友子	
	村尾 真希子			松井 ひさえ	
				安田 ひとみ	

団友

安藤 栄作	大和田 皓	河野 啓子	清水 真佐子	長池 陽次郎	古野 淳
池田 敏美	岡部 純	近藤 勉	瀬尾 勝保	長岡 慎	細川 克己
糸井 正博	小樽 敦子	今野 芳雄	高岩 紀子	長倉 穰司	細洞 寛
今井 彰	小山 智子	齊藤 匠	高野 和彦	新田 清枝	本田 詩子
井料 和彦	甲斐沢 俊昭	坂口 和子	高村 千代子	新田 伸雄	松澤 久美子
岩崎 龍彦	加藤 明広	嵯峨 正雄	竹林 良	二宮 純	湊 貞男
植木 佳奈	加藤 博文	嵯峨 美穂子	竹林 陽子	野仲 啓之助	宮原 真弓
上野 眞行	金崎 真由美	桜木 弘子	田中 千枝	畑中 和子	山屋 房子
生方 正好	川人 洋二	笹 翠	田村 武雄	玻名城 昌子	吉田 啓義
大兼久 輝宴	木村 友博	佐々木 等	津田 好美	福村 忠雄	米倉 浩喜
大澤 昌生	黒川 正三	佐野 恭一	戸坂 恭毅	藤原 勲	脇屋 俊介

〈発行日〉2023(令和5)年6月11日 〈発行人〉石丸 恭一

〈発行所〉東京フィルハーモニー交響楽団

〒163-1408 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー8F Tel 03-5353-9521 Fax 03-5353-9523

フランチャイズ・ホール: Bunkamuraオーチャードホール 提携: 千葉市 文京区 軽井沢町 長岡市

〈デザイン〉米田デザイン事務所 〈表紙画〉ハラダチエ 〈編集協力〉ひとま舎

〈印刷〉歌文印刷株式会社

©Tokyo Philharmonic Orchestra *無断転載を禁ず(非売品)



Afternoon Concerts 2023 season

